

ハルゼミ

Terpnosia vacua

カメムシ目
セミ科

伊豆諸島



環境省

【形態・生態】

翅端まで 30 ～ 37mm。体は褐色で黄白色の微毛に覆われる。♀は小型で産卵管はやや突出する。

【分布の概要】

伊豆諸島、本州、四国、九州

【伊豆諸島における生息環境】

マツ林に生息すると考えられる。鳴き声による記録が神津島から 1 例報告されているのみである。

【伊豆諸島における生存に対する脅威や保全上の留意点】

生息していれば絶滅危惧に該当すると考えられることから、さらなる調査を行うことが望まれる。

【関連文献】

橋本治二, 1979.



(執筆: 須田真一)

アメンボ ※備考 (p. 403)

Aquarius paludum

カメムシ目
アメンボ科

伊豆諸島



環境省

【形態・生態】

体長 11 ～ 16mm。体は黒色で時に褐色を帯びる。成虫には長翅型と短翅型がある。

【分布の概要】

伊豆諸島、北海道、本州、四国、九州、南西諸島

【伊豆諸島における生息環境】

池沼や砂防堰堤上流に形成された止水域に生息する。確実な記録は三宅島から知られていたが、今回のレッドリスト選定時の現地調査によって他の島からも記録された。

【伊豆諸島における生存に対する脅威や保全上の留意点】

本土では普通に見られる種であるが、伊豆諸島では生息地が極めて限られており、絶滅危惧に該当する可能性がある。八丈島では、人為的に整備された水域ビオトープ周辺のみで確認されたことから、国内移入種の可能性もある。他の島も含め、さらなる調査を行うことが望まれる。

【関連文献】

渡辺泰明・相馬州彦, 1972.



(執筆: 須田真一)

シマアメンボ ※備考 (p. 403)

Metrocoris histrio

カメムシ目
アメンボ科

伊豆諸島



環境省

【形態・生態】

体長 4.8 ～ 6.8mm。体は暗黄色で黒色の条紋をもつ。成虫は無翅型で時に長翅型も見られる。

【分布の概要】

伊豆諸島、北海道、本州、四国、九州、対馬、南西諸島

【伊豆諸島における生息環境】

今回のレッドリスト選定時の現地調査では、八丈島の小規模な人工水路のみで確認された。

【伊豆諸島における生存に対する脅威や保全上の留意点】

在来種であれば絶滅危惧に該当すると考えられるが、確認されたのが人為的に整備された水域ビオトープ周辺のみであったことから、国内移入種の可能性もある。他の島も含め、さらなる調査を行うことが望まれる。

【関連文献】

河合禎次・谷田一三 (編), 2005.



(執筆: 須田真一)

マツモムシ ※備考 (p. 403)

Notonecta triguttata

カメムシ目
マツモムシ科

伊豆諸島



環境省

【形態・生態】

体長 11.5 ~ 14mm。頭部と前胸背は淡黄褐色、前胸背は半透明となる。前翅は黒色で斜めに黄色斑がある。背面を下にして泳ぐ。

【分布の概要】

伊豆諸島、北海道、本州、四国、九州、対馬

【伊豆諸島における生息環境】

砂防堰堤上流に形成された止水域で確認されている。今回のレッドリスト選定時の現地調査では、大島の 1 箇所からのみ記録された。

【伊豆諸島における生存に対する脅威や保全上の留意点】

在来種であれば絶滅危惧に該当すると考えられるが、現地調査では他から全く見出せなかったことから、偶産あるいは国内移入種の可能性もある。他の島を含め、さらなる調査を行うことが望まれる。

【関連文献】

河合禎次・谷田一三 (編), 2005.



(執筆: 須田真一)

ミズカマキリ ※備考 (p. 403)

Ranatra chinensis

カメムシ目
タイコウチ科

伊豆諸島



環境省

【形態・生態】

体長 40 ~ 45mm。細長い体型で前脚は鎌状となっている。呼吸管は体長とほぼ同じかやや長い。

【分布の概要】

伊豆諸島、北海道、本州、四国、九州、対馬、南西諸島

【伊豆諸島における生息環境】

砂防堰堤上流に形成された止水域で確認されている。今回のレッドリスト選定時の現地調査では、大島の 1 箇所からのみ記録された。

【伊豆諸島における生存に対する脅威や保全上の留意点】

在来種であれば絶滅危惧に該当すると考えられるが、現地調査では他から全く見出せなかったことから、偶産あるいは国内移入種の可能性もある。他の島を含め、さらなる調査を行うことが望まれる。

【関連文献】

河合禎次・谷田一三 (編), 2005.



(執筆: 須田真一)

【種名・学名などの準拠文献】

科名、学名、配列は、セミ科については林・税所 (2011)、その他については河合・谷田 (2005) に準拠した。

林正美・税所康正 (編著), 2011. 日本産セミ科図鑑. 誠文堂新光社. 224 pp.

河合禎次・谷田一三 (編), 2005. 日本産水生昆虫一科・属・種への検索. 東海大学出版会. 1342 pp.

【備考】 レッドリスト改定時における評価の根拠など補足情報

和名	備考
アメンボ	在来種である可能性も十分考えられるが、水域ビオトープ等の整備に伴う人為移入の可能性も考えられる。
シマアメンボ	
マツモムシ	
ミズカマキリ	

【関連文献】

橋本治二, 1979. 伊豆諸島のセミ類. 月刊むし, (104): 23-24.

河合禎次・谷田一三 (編), 2005. 日本産水生昆虫一科・属・種への検索. 東海大学出版会. 1342 pp.

渡辺泰明・相馬州彦, 1972. 三宅島の昆虫相. 農学集報, 17(1): 1-55.